



柿  
安

# 2021年2月期 決算説明会資料

2021年4月19日  
株式会社 柿安本店

# 1. 2021年2月期 業績



〔通期〕

(単位:百万円)

	2021年 2月期実績	(対売上比)	前年 差異	前年比 増減	2020年 10月9日 開示予想 差異
<b>売上高</b>	<b>37,289</b>	-	△6,648	△15.1%	+489
(売上原価)	18,870	50.6%	△3,445	△15.4%	-
(販管費)	17,104	45.9%	△2,088	△10.9%	-
<b>営業利益</b>	<b>1,314</b>	3.5%	△1,114	△45.9%	+314
<b>経常利益</b>	<b>1,523</b>	4.1%	△989	△39.4%	+423
<b>当期純利益</b>	<b>263</b>	0.7%	△1,238	△82.5%	+33

# (四半期業績推移)



(単位:百万円)

	2021年2月期 第1四半期 会計期間		2021年2月期 第2四半期 会計期間		2021年2月期 第3四半期 会計期間		2021年2月期 第4四半期 会計期間		2021年2月期 通期	
		前年比 /差異		前年比 /差異		前年比 /差異		前年比 /差異		前年比 /差異
精肉事業	3,261		3,765		3,775		4,868		15,671	
惣菜事業	1,774		2,888		2,937		3,294		10,895	
和菓子事業	1,431		1,477		1,685		2,034		6,629	
レストラン事業	311		685		745		579		2,322	
食品事業	179		609		524		457		1,770	
<b>売上高</b>	<b>6,958</b>	<b>64.8%</b>	<b>9,426</b>	<b>88.9%</b>	<b>9,668</b>	<b>94.2%</b>	<b>11,235</b>	<b>91.2%</b>	<b>37,289</b>	<b>84.9%</b>
精肉事業	284		448		400		693		1,826	
惣菜事業	△243		203		281		413		654	
和菓子事業	16		0		99		236		352	
レストラン事業	△389		△177		△92		△152		△812	
食品事業	△25		88		136		18		216	
(調整額)	△236		△240		△229		△217		△924	
<b>営業利益</b>	<b>△594</b>	<b>△1,245</b>	<b>322</b>	<b>△109</b>	<b>596</b>	<b>+273</b>	<b>990</b>	<b>△32</b>	<b>1,314</b>	<b>△1,114</b>
<b>経常利益</b>	<b>△589</b>	<b>△1,269</b>	<b>397</b>	<b>△43</b>	<b>620</b>	<b>+269</b>	<b>1,095</b>	<b>+54</b>	<b>1,523</b>	<b>△989</b>

# (2021年2月期 セグメント概要)



〔通期〕

(単位:百万円)

	売上高				セグメント利益または損失(△)			
	2021年 2月期	2020年 2月期	前年比 (%)	前年 差異	2021年 2月期	2020年 2月期	前年比 (%)	前年 差異
精肉事業	15,671	15,565	100.7%	+105	1,826	1,714	106.6%	+112
惣菜事業	10,895	13,341	81.7%	△2,446	654	1,150	56.9%	△496
和菓子事業	6,629	7,449	89.0%	△820	352	459	76.7%	△107
レストラン事業	2,322	5,369	43.3%	△3,046	△812	△122	—	△690
食品事業	1,770	2,211	80.1%	△440	216	359	60.4%	△142
(調整額)	—	—	—	—	△924	△1,132	—	+208
合計	37,289	43,937	84.9%	△6,648	1,314	2,429	54.1%	△1,114

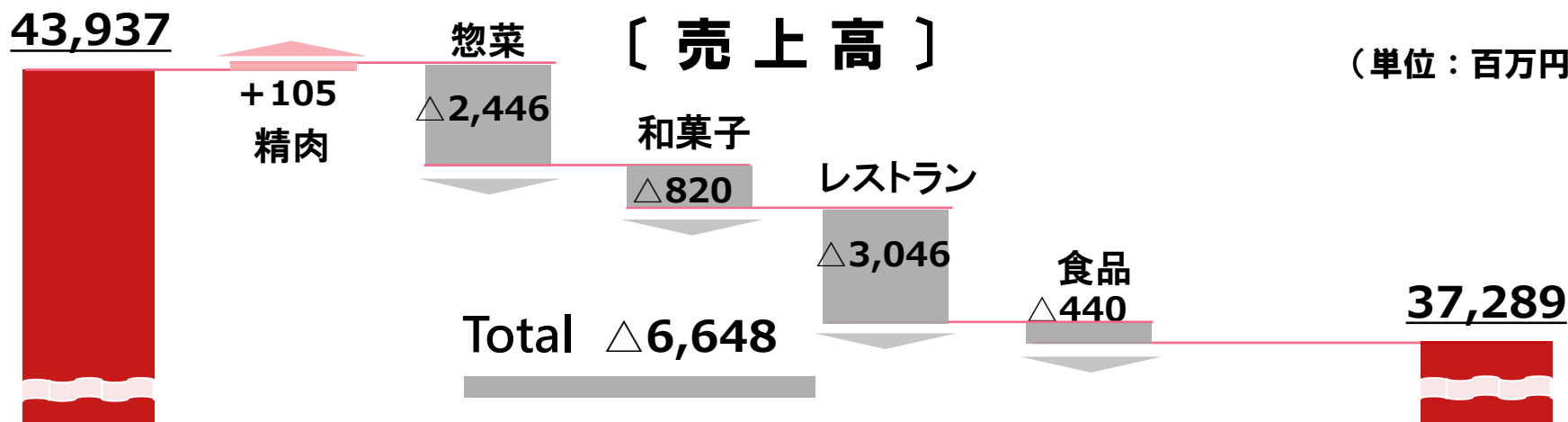
# ◆ 2021年2月期

## セグメント別売上高・利益 増減要因



(単位：百万円)

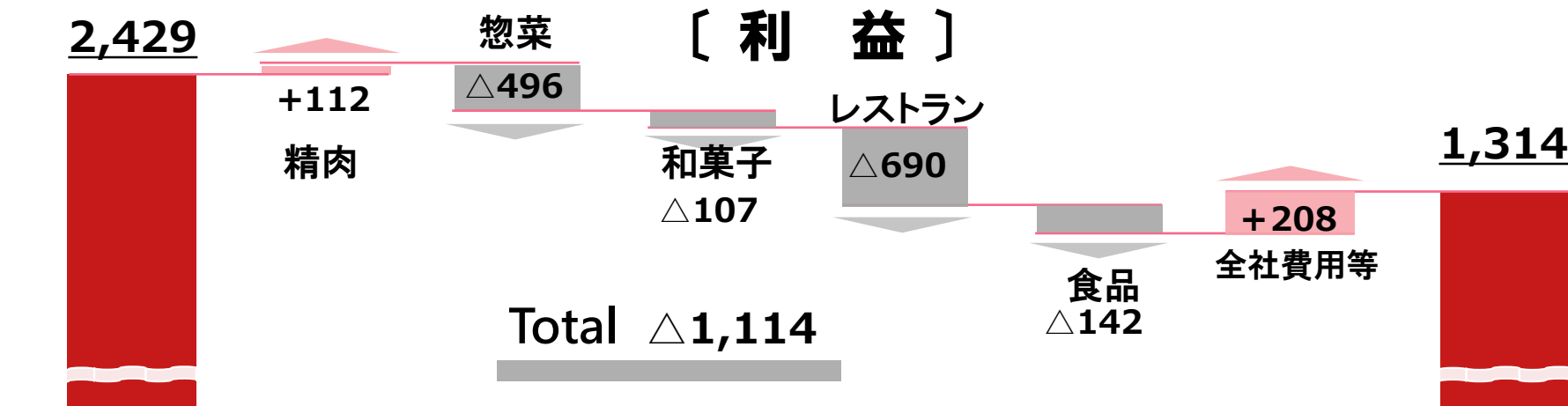
### 〔売上高〕



2020年2月期

2021年2月期

### 〔利益〕



2020年2月期

2021年2月期

## 2. 2022年2月期 業績予想



新型コロナウイルス感染症は未だ収束が見えない状況ですが、前期第1四半期のように多くの商業施設の休業等は想定せず2022年2月期の業績を下記のとおり計画しております。

	2022年 2月期実績	(対売上比)	前年 差異	前年比 増減
<b>売上高</b>	<b>38,500</b>	-	<b>+1,210</b>	<b>+3.2%</b>
(売上原価)	19,200	49.9%	+329	+1.7%
(販管費)	17,000	44.2%	△104	△0.6%
<b>営業利益</b>	<b>2,300</b>	6.0%	<b>+985</b>	<b>+74.9%</b>
<b>経常利益</b>	<b>2,300</b>	6.0%	<b>+776</b>	<b>+51.0%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>1,300</b>	3.4%	<b>+1,036</b>	<b>+393.4%</b>

## ◆ 出退店の状況



	出店 実績	退店 実績	2021年2月 期末店舗数	出店 計画	退店 計画	2022年2月 期末店舗数
精肉事業	1	—	40	1	—	41
惣菜事業	1	5	91	1	2	90
和菓子事業	2	14	187	5	11	181
レストラン事業	1	18	39	—	8	31
食品事業	—	4	10	—	1	9
合計	5	41	367	7	22	352

### 3. 今期の取り組みについて

#### (1) 事業構造改革

##### ・ 営業利益率改善への取り組み

- ①レストラン 抜本的な改革  
→不採算店の整理により来期からの黒字化を目指す
- ②和菓子 ドミナントエリアの再構築
- ③惣菜 調理工程の一部見直しによる新市場開拓
- ④間接部門 業務効率化による固定費の低減



### 3. 今期の取り組みについて

#### (2) 家庭内食を意識した高付加価値な商品の開発強化

- ①**精肉** 「小間きれ」等の強化  
「ハム」「ソーセージ」のオリジナルブランド展開
- ②**惣菜** 「肉の老舗柿安」の強みである「肉」関連商品の強化
- ③**和菓子** 「羊羹」「きんつば」等の日持ち商品強化  
「おはぎ」「団子」「大福」等の定番商品強化
- ④**食品** 「カレー」等のレトルト食品強化  
「すき焼わりした」等のタレ類の強化による販路拡大

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。